

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	建築法規特論	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	前期
対象年次	3年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	4単位		授業形態	講義			
教科書/教材	2級建築士講座テキスト・2級建築士問題集 学科Ⅱ 法規 総合資格学院 建築関係法令集 総合資格学院						
担当教員情報							
担当教員	堀岡勝			実務経験の有無・職種		有・建築設計	
学習目的							
建築計画特論、建築環境・設備特論、建築法規特論、建築構造特論、建築施工特論、建築士受験対策の6教科は、建築設計科（二年制）を卒業して、建築学科3年次に編入した学生を対象に行われる二級建築士の学科試験の対策授業である。建築法規特論では、学科Ⅱ分野（法規）の法令の理解と実務に精通した知識を習得し、二級建築士試験合格を学習目的とする。さらに、二次試験（製図試験）に必要な関連知識の修得を到達目標とする							
到達目標							
二級建築士の学科試験の学科Ⅱ分野（法規）において、各科目の基準点である13点以上を取ること。及び、学科試験Ⅰ分野から学科試験Ⅳ分野の合計点において、合格基準点の60点以上をとることを到達目標とする。							
教育方法等							
授業概要	教科書及び問題集を活用し「予習」「講義」「復習」の段階を繰り返し行い2級建築士試験に向けて記憶の定着を図り進めていく。授業毎に確認テストを行い授業の理解度を確認し、解答の導き方においてはグループ学習を取り入れる。						
注意点	「予習」を前提に授業を行うため各回の範囲のテキストを一読し、問題集を必ず解いて提出すること。自宅学習で理解不足の部分を講義で確認し理解して授業を終えること。講義後はテキストや問題集の見直しを行い、理解度を確認し知識の定着を図ること。授業は全て出席を前提とし、本試験に向けて学習計画を具体的に立てること。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	70%	二級建築士学科試験の結果を評価する				
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	用語の定義			建築基準法及び施行令の用語の定義を理解する。			
2回	面積・高さの算定方法			実例参照を通じ面積、高さ、階数等について算定することができる。			
3回	確認申請・建築手続			確認済証の要・不要について理解する。			
4回	一般構造			居室の採光、換気、界壁の構造、階段等の規定について理解する。			
5回	防火区画・耐火・防火			主に一級製図試験で取扱う規模の防火区画について理解する。			
6回	避難施設等			実例の建築物等を参照し、避難施設の規定について理解する。			
7回	内装制限			各種建築物の内装制限と使用材料（不燃・準不燃・難燃）について理解する。			
8回	建築設備			各種建築設備の規定、実例について理解する。			
9回	構造強度			法20条1項 令36条、令36条の2、令81条の条文構成、内容を理解する。			
10回	道路			道路の定義、接道条件等を理解する。			
11回	用途地域			各種用途地域で建築できるもの、できないものを判定することができる。			
12回	容積率・建ぺい率			実例を通じ建ぺい率、容積率の算定することができる。			
13回	高さ制限			実例を通じ道路高さ制限、隣地高さ制限、北側高さ制限を算定することができる。			
14回	防火・準防火地域			耐火・準耐火建築物としなければならないものを理解する。			
15回	建築士法			建築士の設計・工事監理業務に係る近年の改正法について理解する。			